

平成23年度東北地方太平洋沖地震への対応について（第15報）

1. 地震概要

- ・ 発生日時：平成23年3月11日（金）14：46頃
- ・ マグニチュード：9.0（暫定値）
- ・ 場所及び深さ：三陸沖、深さ24km（暫定値）
- ・ 最大震度：震度7（宮城県北部）
- ・ 津波の観測値：

相馬	7.3m以上
大洗	4.2m
釜石	4.1m以上
宮古	4.0m以上
いわき市小名浜	3.3m
大船渡	3.2m以上
八戸	2.7m以上

2. 安否確認

全ての職員の安全を確認（3月13日）

全職員のご家族の安全も確認（3月15日）

3. 事務所の状況

支部名	事務所	事務所の状況	備品の状況	復旧状況
北海道支部		被害・異常なし		
仙台支部	仙台支部	被害なし	被害なし	業務遂行可 電気は回復 パソコン使用可
	青森港	特に被害無し		
	八戸港	特に被害無し	ライトバン水没 パソコン等は無事	
	久慈港	1階は壊滅状態	ライトバン水没 パソコン、コピー機、書類全て流出	
	仙台港	1階は壊滅状態 車散乱 2階の状況は不明	ライトバン水没 事務所の状況不明	

	仙台空港 空港内事務所	1 階水没 2 階以上は不明	ライトバン水没 事務室（3 階）は 不明	
	小名浜港	1 階水没 2，3 階不明	ライトバン 2 台中 1 台水没	
	秋田港	特に被害無し	特に被害無し	
	酒田港	特に被害無し	特に被害無し	

仙台支部：ライトバン 10 台中 5 台水没

支部名	事務所	事務所の状況	備品の状況	復旧状況
新潟支部		被害・異常なし		
横浜支部	千葉支所	窓ガラス破損 タイル落下等 建物全体で損傷有 り		
	東京支所	周辺の液状化によ り浸水	書棚落下 パソコン破損	
羽田空港支部		被害・異常なし		
新潟支部		被害・異常なし		
名古屋支部		被害・異常なし		
神戸支部		被害・異常なし		
関西空港支部		被害・異常なし		
広島支部		被害・異常なし		
高松支部		被害・異常なし		
福岡支部		被害・異常なし		
沖縄支部		被害・異常なし		

4. 発災後の地震関連対応

日 付	支 部	支 所	対 応 等
3 月 11 日 (金)	本部 仙台支部 横浜支部		理事長を本部長とする「東北地方太平洋沖地 震対策本部」及び「同仙台支部、横浜支部」 を設置。
3 月 12 日 (土)	仙台支部	久慈港駐在	久慈港被災状況を確認。写真とともに釜石港 湾事務所久慈港出張所へ報告
	横浜支部	千葉支所	施設点検を実施。千葉港湾区域での被災は、 無い。

3月12,13日 (土,日)	横浜支部	鹿島支所	施設点検を関東地方整備局港湾事務所からの要請に基づき実施。 13日に航路等の深浅測量のため、施設点検調査を実施。 点検結果は以下のとおり。 ・ 鹿島港ケーソンヤードよりケーソン流出（2函座礁、1函は浮遊） ・ 外港地区岸壁-14mの法線のズレ有り ・ 公共岸壁の多くに法線のズレ、エプロン陥没があり使用出来ない岸壁多数 ・ 民間岸壁のほとんどが、崩壊。使用不可。 ・ 住友金属のクレーン倒壊
3月13日 (日)	羽田空港支部		羽田空港の基本施設には被害なしを確認。 場周道路の一部に陥没があることを確認。 何れも、直轄職員が対応した結果をヒアリング。
	横浜支部		常陸那珂支所、鹿島支所へ救援物資輸送（第一回）
3月14日 (月)	仙台支部	久慈港駐在	久慈港内音探測量（船舶接岸可否判断用）
	新潟支部		北陸地方整備局管内の港湾施設（直轄）では被害なしを確認。 ただし、新潟港沈埋トンネルで舗装の一部が沈下（軽微であり交通に支障なし）
	神戸支部		和歌山下津港、日高港（和歌山支所）について既設構造物について被災なしを確認
	福岡支部		九州地方整備局管内の港湾施設の被害なしを確認
	沖縄支部		施設点検を実施、被害なしを確認
3月15日 (火)	羽田空港支部		国土交通省航空局からの協力要請により仙台空港復旧要員の派遣を決定。
	本部・新潟支部		仙台支部の復旧支援のため、新潟支部の協力を得て、本部2名、新潟支部2名を仙台に派遣するため、本日夜間に新潟入りし、明日朝から仙台に向け出発。1～2日程度の短期派遣を予定。
	横浜支部		常陸那珂支所職員が被災し不在、この解消のため一時的に職員の異動を実施。 常陸那珂支所、鹿島支所に物資輸送（第二回）

3月16日 (水)	本部・新潟支部		本部2名、新潟支部3名合計5名が、新潟より救援物資とともに陸路、仙台支部支援のため出発。 同日夕方、仙台支部到着。
	横浜支部		鹿島支所へ救援物資輸送と併せて、浸水したサーバーの修理。
	名古屋・神戸・関空・広島・高松・福岡・沖縄支部		仙台支部への支援物資を、各支部から新潟支部宛に搬送開始。
3月17日 (木)	仙台支部		久慈、小名浜より不足物資の支援要請があり、北海道支部から八戸経由で久慈まで運搬するルートを調整・構築。
	本部		国土交通省本省より協力要請
	北海道支部		東北向け支援物資の発送準備（八戸経由：フェリー使用）
3月18日 (金)	仙台支部	久慈港駐在	北海道支部からの救援物資が3月19日午前、八戸に到着予定。その後、久慈港まで運搬する予定。 小名浜港宛救援物資段ボール箱12箱他を搬送。
3月19日 (土)	仙台支部	久慈港駐在	北海道支部からの救援物資が10時20分頃、八戸港に到着し、トラックで久慈港まで運搬して12時10分頃に到着。 小名浜港宛救援物資が10時半頃に到着。
3月21日 (月)	仙台支部		小名浜港宛救援物資段ボール43箱を、車両2台で搬送。1台は本日21時頃、小名浜港に到着予定、残り1台は明日出発し到着予定。
3月22日 (火)	仙台支部		昨日仙台を出発した小名浜港向け2便の内、第一便が昨日20時半頃現地到着、第二便が本日昼前現地到着。

3月23日 (水)	仙台支部		本部佐藤理事、富沢調査役、新潟支部齋藤主事、神田T Eが、新潟から仙台支部まで救援物資をマイクロバスで運搬・到着。
3月24日 (木)	仙台支部		東北地整局と、今後の災害復旧に関するSCOPEからの技術支援等について打合せ。整備局側から被災各港への技術者の新規・増員配置等について要請あり。 本部理事他が、被災した塩釜港湾・空港整備事務所、仙台港、仙台空港の被災箇所を現地視察。船が護岸に乗り上げていたり、車が折り重なったり、家屋が木片と化していたり、立木が根こそぎ流されたり、空港施設が大きく破壊されていたりしている大津波独特の壊滅的な被災状況を調査。
3月25日 (金)	仙台支部		支部長、前仙台支部長（災害査定官経験者）が、東北地整局と、今後の災害査定に関するSCOPEからの技術支援、救援物資等について打合せ。
3月28日 (月)	仙台支部		東北地整局から、災害査定用資料作成方法について、釜石港湾事務所に於いて、災害査定官経験者による研修実施の支援要請を受ける。 15時頃、本局向け救援物資段ボール箱22箱を支援。
3月29日 (火)	仙台支部		28日、SCOPEに「東北関東震災復興支援室」が立ち上げられ、本部佐藤理事が室長に就任。東北関東震災復興支援室（仙台）（以下、「復興支援室（仙台）」）では支部長が副室長に就任し、業務開始。

3月30日 (水)	仙台支部		復興支援室の室長と副室長が、東北地整局幹部と、今後の復興支援業務の人員配置、実施体制、実施方法等に関し打合せ。
4月1日 (金)	仙台支部		東北地整局と、復興支援に関する業務内容、人員配置箇所、配置員数等について調整。その結果に基づき復興支援室（仙台）の体制が固める。

5. 港湾施設の被災状況

3月14日現在

港名	被災の概略
青森	・港の被害は、特に認められない。
むつ小川原	・陸上からの目視確認では異常なし。（青森県むつ小川原港管理事務所からの情報）
八戸	・八太郎地区北防波堤堤頭部を残して水没しているが、航路は確保できている模様。 ・水深7.5m岸壁2バース、水深14m岸壁1バースは大きな損傷は見られない。 ・航路に浮遊物は見られない。フェリー水深7.5m岸壁、その他岸壁、ほぼ使用可能。航路に浮遊物は特に確認されていない。 ・ポートアイランド地区は特段の被害は生じていない模様。（護岸、土砂（高盛土）は現時点で損傷見えず。サンドコンパクション打ち込み機（JX 日鉱日石）は倒壊していない。） ・河原木地区の多数のタンクより油が流出し、シーガルブリッジから新井田川へ流入。 ・河原木地区2号ふ頭の SOLAS フェンスおよび緑地護岸フェンス倒壊。太平洋金属の建屋倒壊。 ・八太郎3号ふ頭（フェリーふ頭）においてトレーラーが散乱。 ・北防波堤が一部破損。（ハネ部700mにつきケーソン転倒・水没、基部2794mにつき多数のケーソン転倒（歯抜け状態）） ・えびす浜までコンテナが散乱。 （職員による高台からの目視により確認）
久慈	・湾口防波堤は部分的に倒壊。FDが港内で沈没。その他は確認できない。 （職員による高台からの目視により確認。ヘリ画像により確認）
宮古	・第一線防波堤ほぼ全般に渡って水没。港内にフローティングドックが係留具から外れ浮遊状態。

	・ 藤原・神林地区 神林地区防波堤全延長（562m）のうち、7・8割が損壊。 港湾業務艇「はまぎく」の所在及び損傷を確認。ポンツーンは、船溜で漂流中。 船溜の防波堤は、一部が水面上に確認できるが、ほぼ倒壊。 藤原防波堤（Ⅰ）は、先端部 10～20m（灯台含む）が水没。 藤原地区の岸壁については、10m岸壁 1 バース（最南部）を除き、支障は生じていない。 背後ヤードに丸太が散乱。 ・ 竜神崎防波堤の西側（浄土ヶ浜側）2 函が水没。 ・ 浮遊物が港内全体を覆っている。浮遊物は丸太、漁船、クルーザー、生活物資等。 （職員による遠方（合同庁舎 4 階）から目視確認、ヘリ画像により確認）
釜石	・ 湾口防波堤はかなりの部分が損壊。湾口部に沈船あるが航行は可能。 須賀地区水深 7.5m 岸壁、水深 11m 岸壁はヤードに散乱物があるが大きな損傷はない模様。港奥に FD が漂流しているが、岸壁に支障はない模様（ヘリ画像により確認）。
大船渡	・ 湾口防波堤ほぼ全壊。 ・ 野々田岸壁 7.5～13m、永浜岸壁 13m、大きな損傷はない模様。 ・ 茶屋前岸壁 9m は全域にわたって浸水している模様（ヘリ画像による確認）。
石巻	・ 釜地区水深 9m 岸壁前にチップ船が半没し、港内に木材チップが浮遊。 ・ 雲雀野地区-13m 2 バース、-10m 1 バース被害なし。ただしヤードに流出物が散乱。泊地も木材チップ等が浮遊。 ・ 背後臨港道路の利用可否は不明。 （ヘリ画像により確認）
仙台塩釜港	・ 仙台港区コンテナヤードが浸水しコンテナが散乱、クレーンは倒壊なし。 ・ 航路には障害物はない。 ・ 高松-12m 耐震被害なし。前面に障害物なし。 ・ 背後の臨港道路は流出物が塞いでいる箇所が複数有り、通行にはその除去が必要。水はひいている。（ヘリ画像より確認） ・ 仙台港区は入港制限をかけている。 ・ 南防波堤に接触船あり。重油流出あり。 ・ JX 日鉱日石及び東北電力職員の乗用車が数百台、港内に流出。 ・ コンテナが多数流出しており、一部は沖合に流出。 ・ 完成自動車も流出。 （宮城海上保安部からの情報） ・ 雷神埠頭のエプロン部に起伏が生じている。エプロン下に空洞が生じてい

	る可能性がある。 ・フェリー埠頭岸壁、中野埠頭 5.6 号岸壁について特段の支障は生じていない。 (職員による目視情報)
相馬	・3 号埠頭 10m岸壁と 5 号埠頭 14m岸壁の間に大型の石炭船が座礁している模様。ただし 5 号埠頭前面の水域に浮遊物は確認されていない。 (ヘリ画像より確認)
小名浜	・沖防波堤は被災なし。第 2 沖防波堤は目視では確認できない。その他港内の防波堤は一部被災している模様。 ・5 号ふ頭地区 12m岸壁は係船中。荷役作業中に待避したためアームを入れたままであり異動困難。 ・6 号ふ頭地区 14m岸壁は荷役機械は大きな損傷無し。エプロンは使用可能であるが、背後地が沈下している。 (職員による高台からの目視により確認)
能代	被災なし。通常どおり利用可能。
船川	被災なし。
秋田	岸壁被災なし。船舶航行可能。
酒田	岸壁被災なし。船舶航行可能。